



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

2007年3月2日
MR/E09/07

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国連大学グローバル保健国際研究所 (UNU-IIGH) 初代所長にモハメド・サレー・モハメド・ヤシン氏を任命

国際連合大学 (UNU) は、新しく設立された国連大学グローバル保健国際研究所 (UNU-IIGH) の初代所長にモハメド・サレー・モハメド・ヤシン博士を任命。クアラルンプールを拠点とする UNU-IIGH は、グローバル・ネットワークに加わる、国連大学の最も新しい研究・研修センター (プログラム) (RTC/P) である。

ヤシン博士はクアラカンサーのマレー・カレッジを卒業後、インドネシア国立バンドン工科大学で修士号、英国のバース大学で博士号を取得。1974年からは、国立マレーシア大学 (ケバングサーン・マレーシア大学 - UKM) で教鞭を取り、医学部微生物学・免疫学科長 (1985～1990年)、医学部学務担当学部長代理 (1990～1992年)、保健学部初代学部長 (1992～1995年)、開発問題担当副理事代理 (1995～2000年)、学生問題担当副理事代理 (2000～2002年) を歴任。1992年には保健学部生物医学科の正教授に就任。2003年5月、同大学副理事長に就任した。また、2006年8月にはマレーシア国立高等教育認証機構 (LAN) の議長および事務総長に迎えられている。

国連大学グローバル保健国際研究所 (UNU-IIGH) は、国連大学とマレーシア政府との間で2006年5月に締結された合意に基づいて設立された。UNU-IIGH の活動目的は、人間の健康に関する重要課題の研究、能力開発、ならびに知識の普及である。本研究所は (特に途上国の人々を対象とする) 保健サービス政策の枠組みと管理活動の開発および強化に加え、疾病予防と健康増進への支援にも取り組む。

ヤシン博士のコメントは次のとおり。「このような重要な国際課題に取り組む、新しく革新的な研究センターの初代所長に任命されたことをとても荣誉に思います。現代の国際社会が鳥インフルエンザをはじめとするさまざまな脅威を抱える中、マレーシアが UNU-IIGH の活動を通じ、途上国にこうした脅威への準備を促す役割を担えることを嬉しく思います。本研究所は、マレーシアのクアラルンプール、チュラスにあるケバングサーン大学病院に設置され、今年の半ば頃の稼働を予定しています」

国連大学グローバル保健国際研究所 (UNU-IIGH) については、国連大学のウェブサイト、(<http://www.unu.edu/>) をご覧ください。

また、ヤシン博士とのインタビューをご希望の場合は、国連大学広報部 担当：谷野 (やの) までご一報ください。(tel: 03-5467-1311; e-mail: media@unu.edu).